

西国巡礼慈悲の道

西国第二番 紀三井山 金剛宝寺護国院

巡礼の心、とは

貫主 前田孝道



千年の時を越えて、この西国三十三所に始まり、今に伝わる観音巡礼の道。

交通機関の有無や、参詣道の変化など、昔と今の巡礼には大きな違いがありますが、ずっと変わらぬ、変わってはいけない「巡礼の心」があります。

人間の等しく求めてやまぬものは、「幸せ」であります。

しかし、「幸せ」は、羽の生えた鳥のようなもので

す。「苦楽はあざなえる縄のごとし」といわれるように、人間の喜怒哀楽は、こもこも果てしがありません。

普通のやり方では、真の幸福をつかむことは難しい、といわねばなりません。

巡礼は地位、名誉、財産等あらゆる人間の虚飾をかなぐり捨て、風雨に耐え、悪路を踏み越え、一足々に「南無観世音菩薩」と唱

えつつ三十三ヶ所を巡礼するうちに、しだいに己の限界を知り、我欲を反省し、心が浄化される。

観音様と二人連れで歩いていると思える、つまり同行二人（どうぎょうにん）の心境から、さらには観音さまと自分との合一まで高められることにより、些細なことで動揺することのない、真の幸せを得ることができるのであります。

「月日は百代の過客にして、行きかふ年も亦旅人なり」…。芭蕉の言葉ではありませんが、人生を旅と見れば、人は皆旅人であります。

人生は巡礼なり。巡礼を知ること、体験することで人は、人生という旅路の歩

き方を学ぶことが出来るのです。

どうか皆さま、紀三井山の御詠歌にある如く、花の都を心に招くべく、はるばると、この道を歩かれませ。



西国第二番

こんごう ほう じ ご こくいん
紀三井山 金剛宝寺護国院(紀三井寺) 救世観音宗総本山

御本尊／十一面観世音菩薩 開基／為光上人

ふるさとを はるばるここにきみいでら
はなのみやこも ちかくなるらん

✳ 主な年中行事 ✳

- 正月三ヶ日 初詣 (家内・交通安全・厄除等終日大祈祷厳修)
正月18日 初観音
(午後1時より大般若経転読とお加持があります)
2月3日 節分
(午後4時より福つき大豆まき 終日大祈祷会厳修)
旧暦初午日 初午
(午後4時より福つき大投餅 終日大祈祷会厳修)
3月20日より4月20日 桜祭り (観光)
8月9日 千日詣 (一日詣れば千日の功德・終日祈祷会厳修)
8月15日 灯籠供養 (紀三井寺境内にて午後6時より)
11月13日 開山忌 (午後1時より法会)
12月18日 しまい観音

* 年2回 (春5月と秋11月頃) 西国三十三所観音霊場巡拝と
年1回 (夏8月24日地藏盆の頃) 四国八十八所弘法大師霊
場巡拝を行っております。皆さまと一緒に同行二人の巡礼・
遍路の旅にお詣り致しましょう。

* 詳しくは、紀三井寺まで (電話) 073(444)1002

❀ 観音風光 ❀

紀三井寺は、和歌山県和歌山市、紀州徳川五十五万五千石の城下町に位置し、近くには、和歌山城やマリナーシティなど新旧の観光地があります。本堂の前から直接望むことが出来る和歌の浦は、古来旅人から愛された絶景です。

境内には、多宝塔など重文の建物が並び、新たな仏殿にて、木造立像では日本最大の大千手十一面観音像が公開されています。

ご詠歌の意味

第一番札所的那智山からは札所間最大の長い道のり。野を行き、山を越え、里を過ぎて、はるばるここ紀三井寺の観音様ご宝前にたどりついてみると、まだ遠いはずの京の都が近くに感じられる。巡礼の修行こそが、花開く心の浄土への近道であることを示すように。

〒641-0012 和歌山県和歌山市紀三井寺1201

TEL 073-444-1002 <http://www.kimiidera.com/>

納経時間 年間を通じて午前8時～午後5時まで

西国三十三所札所会ホームページ <http://www.saikoku33.gr.jp>

西国霊場にご参拝の時は納経帳や白衣を忘れずにご持参ください。2回目以降はご参拝の印として重ねて納経印をいただきますよう。